

様々な方法で支えとなる人達

更生保護ボランティアの皆さん

保護司は犯罪や非行によって保護観察を受けた者に指導・助言を行い、更生を図るためのさまざまな手助けをしています。

更生保護女性会は女性としての立場で、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪や非行をした人の更生支援活動を行うことを目的としています。

BBS会は兄や姉のような存在として、様々な問題を抱える少年たちに助けるボランティア活動です。

協力雇用主は犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等をその事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主です。



子ども食堂

今回参加した子ども食堂さんでは、経済的な問題を抱えた人・家庭だけでなくその地域で同じ悩みを持つ人達が、1人で抱え込まないように、問題を共有しお互いに助け合う為の、**助け合いの場、出会いの場**としての役割がありました。

予約制で
1食100円!

ボランティアタイムスケジュール	
9:00	近くの駅に集合
9:15	子ども食堂到着
9:20	子ども食堂を行っている背景の説明
10:00	お弁当作り開始
12:00	お弁当の受け渡し
13:30	解散



左が5/29 右が7/25に、お手伝いしたお弁当です。
7/25には子供・大人用合わせて74個作りました!

たくさん貴重なお話を聞かせていただきました。
その中で2つピックアップしました。
保護司さんにインタビュー!

保護司をしていて
難しかったことはなんですか?



子ども食堂の感想・感じたこと

5/29の子ども食堂に参加した中で、協調性を大切にして周りの意見を尊重して動く大切さを知りました。周りのことを考えて動けたと思います。



色合いや栄養バランスの考えられたお弁当で、思っていた以上に色鮮やかでバランスのよい食材を使っており、想像以上に豪華なお弁当でした。



上が5/29に作ったお弁当
下が協力してお弁当を作っている写真です

保護司をしていて
難しかったことはなんですか?

経済的な問題には関与できない。金銭的な面も勿論、仕事を紹介できたとしても行きたがらないなど。

薬物依存の問題。依存性が高いためなかなか克服できない。また、悪い集団と関わることをやめさせるのが困難など

保護観察が受けにくい現実。平日は仕事を命じられているにも関わらずさらに平日しか開いていない保護観察も命じられているという矛盾が発生しているという問題。

子ども食堂の感想・感じたこと



心理学科 K君
子ども食堂 6/25参加



今回参加した場所がお寺の一室であった事もあり、お弁当を作る際に周りに気を付けないといけない中、74個近くのお弁当を作るのは大変でした。

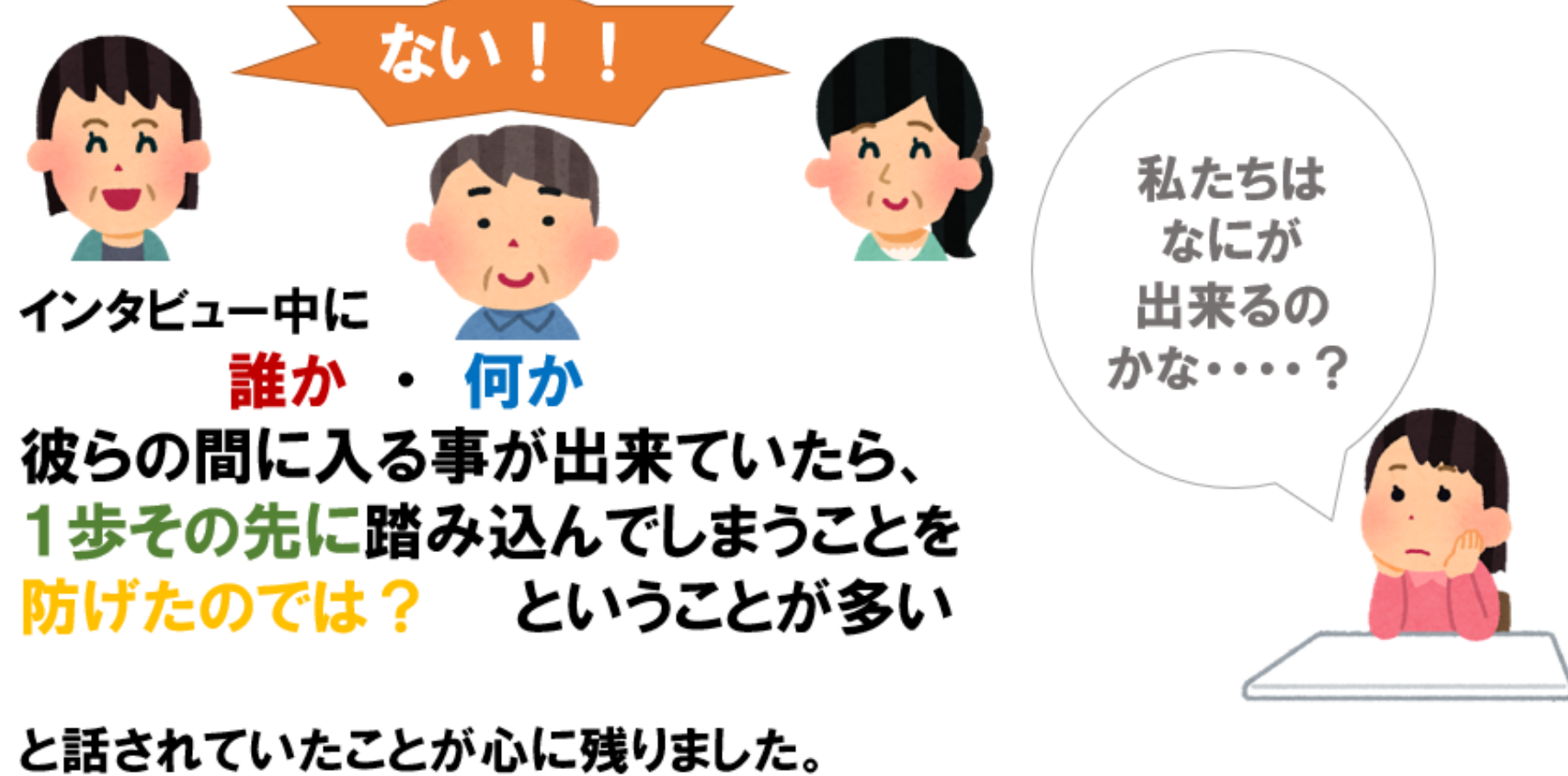
ただ、子連れのお父さんや子供達にお弁当を受け渡した時に達成感を感じ、子ども食堂に参加して良かったという気持ちになりました。



上が6/25日のお弁当手伝い中の風景
下が全部のお弁当が完成した写真です!

観察保護対象者たちに
共通点

ってありますか?



と話されていたことが心に残りました。

まとめ

犯罪を犯してしまった時、立ち直る助けになる**保護司さん**、**BBS会員の皆さん**の働き方や考え方に触れさせて貰う機会を頂きました。問題を共有し地域的に助け合う**子ども食堂**に参加し、様々な状況下で支えとなる人達がいることを知りました。これらの事から私たちは人と人との繋がりの大切さや頼もしさを知り、この授業のみで留まらず、今後の人生で活かしていきます。